水と緑と風薫る街　MINT CITY KOYO

工業部報告

先進地視察

今年の工業部会の研修旅行では、「産業処理・エコ施設と町のアート活動」の視察を目的に、八月一日・二日の両日、瀬戸内海に浮かぶ香川県直島を訪問。環境センターと有価金属リサイクル施設並びに国際芸術祭開催中の直島の視察研修を実施し、自然と文化、環境の調和したまちづくりとしてのエコランドを研修しました。

当日、参加者十三名は、路香川県直島へ。先ず訪れた環境センターでは、八〇年から九〇年にかけて、大量の不法投棄が処理業者によってなされ豊島に公害として残り、国との調整により二〇〇〇年に直島が施設として受け入れ、環境回復に向けて大きく事態が動いた経緯の説明を受講。豊島から海上輸送された廃棄物は、焼却溶融施設にて鉄分・銅・アルミ・スラグ・有価金属等に有効利用されるシステムを視察しました。一方、三菱マテリアル精錬所では、銅精錬施設を活用する循環資源回収事業を視察し、地球規模で発生している環境問題そして循環型社会への移行の重要性について、認識を深めることができました。

更に、もう二つの顔をもつ芸術としての町。斬新なデザインで、島の玄関口宮浦港に建設された「海の駅」や、ベネッセアートミュージアム、建築家の安藤忠雄氏設計によるプロジェクトとしてかぼちゃのオブジェなど観光スポットが多種多彩に町全体に置かれ、心癒す風景と文化や暮らしに出会った研修旅行となりました。

記事　工業部部長　山本 靖則

工業部会　第一回企業訪問

工業部会では、去る六月八日企業見学を開催。今回は、安佐北区深川二丁目サンシャイングループ　サンシャインランチ　代表取締役・田川 幸雄氏を訪問。「先代の社長の理念の継承。社員全員がクルーである意識。そんな人材を育成に努める事で自分自らも磨く。」そんな会社に対する熱い思いが、伝わってくる企業訪問となりました。

当日は社内見学から始まり、多目的ホールとも言えるガーデンにてティータイム。参加者へ手作りケーキとコーヒーのおもてなしに参加者もびっくり。先代の社長の苦労人生と現社長への継承に至るまでの経緯をDVD鑑賞を通じて説明。ある場面では心打たれジンとくる場面もあり、参加者からは拍手も出ていました。

最後の管理部長や社長からの説明のなかで、日々配る弁当の味の固定化の打破として、母親が日々子供の弁当を考えるように、飽きのこないものとして、又その時の気候に合ったメニューづくりに心がけている点や、地元に愛され貢献する企業として、地元優先の従業員の採用。更に、地産地消を基本に、極力地元最優先として企業活動に努めている基本理念を力説。今後、生き残りをかけて多角経営として、付加価値をつけた食品販売のショップを市内に展開しているサンシャイングループの、将来を見据えた弛まない経営を学び大変有意義な企業見学となりました。

記事　工業部副部長　吉井 俊治

工業部部長　山本 靖則

商業部報告

一日視察旅行

六月三日、呉市豊町御手洗（大崎下島）の「町並み保存地区」と呉広域商工会豊支所へ特産開発「豊島ラーメン」を二十六名にて視察しました。

御手洗の国重要保存地区選定「江戸時代の町並み」は、一昨年十一月に開通した豊島大橋三号線により陸続きになり、現在密かなブームになっています。現地商工会重森指導員さんの案内により、きれいに保存されている町並みを視察し、参加者一同感銘しました。また、当地商工会開発のヒット商品「豊島ラーメン」の説明を伺い特産開発のノウハウを研修しました。

視察後は、蒲刈の地魚料理を賞味し、下蒲刈の松濤園にて歴史・文化を学び充実した旅行でした。

記事　商業部部長　奥田 幸彦

商業部部長　奥田 幸彦

「高陽・白木（こうよう・しらき）」産直市のご案内

日時　11月14日（日）午前10時～（雨天決行）

場所　フジグラン高陽ふれあい広場

内容　昨年商工会合併記念行事として開催した「しらき産直市」の第2弾。
白木町の新鮮な野菜、新米、竹炭、杵つきの餅等の販売。
催し物は、ちびっこ和太鼓・キッズソーラン・オカリナの演奏等予定。

水と緑と風薫る街　MINT CITY KOYO

青年部報告

第四十一回 高陽町商工会青年部通常総会

平成二十二年四月十七日（土）沖縄県那覇市の『おもろ殿内』にて青年部総会が行われ、その席で新たに部長のご指名、承認をいただきました。この度の総会は先輩方九名がご卒業されるということもあり、慰労の意味を込めて沖縄まで行ってまいりました。総勢二十名のメンバーで沖縄の文化・歴史・自然を満喫し新たなスタートを切ることが出来ました。副部長に加藤氏・葉畑氏・松下氏その他役員も決まり、総勢三十三名の部員でこれからの青年部活動を行なってまいります。皆様ご指導ご協力よろしくお願い致します。

記事　新青年部部長　滝口 恒明

第十七回 こうようまつり

白木と高陽が合併して、初の一大イベント、『高陽まつり』。右も左もわからないままに、準備の会議が終わっていく。本当にできるのだろうか。不安が募る。

八月二十八日土曜日。すこぶる快晴。早朝から会場設営へ。私の担当は『ふわふわドーム』。イベント開始。お昼過ぎまでは、そこまで忙しいとは思わなかった。順調かな？途中皆の動きが気になる。定刻になるが、三十分延長。部長の一声。そして三十分後、日没まで延長。また部長の一声。部長の顔が鬼のように見えた。日没になり、止むを得ず終了。まつりのラストは花火。とても綺麗だった。これも精一杯頑張った成果だろう。その後、片付けを終え、皆で記念撮影。いい汗かいた皆のすがすがしい顔は忘れられない。そして、待ちに待った打上げ会場。皆がやっと一つになったような、そんな気がした。この笑顔が、祭りの成功を暗示しているバロメーターだな。まつりも無事終わり、私達白木青年部員も、これで高陽青年部の一員として認めてもらえたのではないだろうか。ほっと安堵で今年の、暑く熱い夏は、気持ちよく終わった。

記事　地域振興委員長　石飛 太士

三篠園夏祭り

八月二十一日（土）白木町井原の三篠園夏祭りに参加しました。焼きそば屋台が担当です。当日は猛暑の中、鉄板に向かい、熱気と闘いながら全員で野菜、肉、そばを調理しました。下ごしらえは女性部の方にしていただき、大変助かりました。開始と同時に六〇〇食が二時間半であっという間に完売しました。地域の皆様、入所者の皆様も行事を楽しみにされているようで、多くの人でにぎわっていました。地域の盛り上がりの一助になれば幸いです。

記事　新青年部副部長　葉畑 伸一

青年部部長　滝口 恒明

女性部報告

女性部　総会開催

平成二十二年度の総会が、五月十一日芸北オークガーデンを会場にて開催され、二十二年度事業報告・決算書、二十二年度事業計画・予算書が全員一致で承認され、実質的に新年度がスタートされました。高陽・白木両町合併後一年経過年でもあり、グランドゴルフも実施して交流を深めようと、親睦会も同時実施。各ホールでは、終日歓声が響いていました。また、総会終了後今年女性部の広島県主張発表大会に出場される川西商店の川西智子さんの発表が披露され、「女性部活動に参加して」と題した内容にて、力強い発表振りを披露していました。その後は、地元芸北の郷土料理に舌鼓や疲れを癒す温泉など、リフレッシュできる至福の時を過ごし、充実した一日となりました。

記事　女性部 大瀬戸 紫苑子

老人ホーム慰問！

女性部員にて、六月十四日に白木町井原の老人ホーム「三篠園」へ慰問に行き、入所者の方とグランドゴルフにて交流しました。毎年実施しているので、ご老人の方々が楽しみに待っておられ、当日は終始和気あいあいと皆さん喜んで頂き、楽しく地域貢献活動が出来ました。

記事　女性部　赤﨑 公美子

女性部の手芸教室

手芸を通じて色々な作品にチャレンジしてコミュニケーションを深めようと、七月より手芸教室を開催しています。ワイワイ・ガヤガヤと楽しい雰囲気のなか、参加者の笑い声が響いています。最近では、高陽まつりに出演する「ひょっとこ踊り」に使用する褌づくりに精を出し、今は小物入れ袋づくりに奮闘中。

会場は、商工会白木支所の隣の集会所にて、午後七時から九時迄。手芸に興味のある方は、是非この機会に参加して、色んな作品にチャレンジしてみませんか。ご一報お待ちしています

事務局　842−0186

女性部部長　大瀬戸 紫苑子

まちづくり新事業策定委員会

まちづくり新事業策定委員長　沖田 龍一

稲刈体験報告

去る九月二十六日、島根県飯南町上赤名の自然いっぱいの山郷を十八名で訪ね、稲の収穫作業を体験いたしました。今年は猛暑で稲のできがあまり良くないと聞いていましたが、大自然の中で頂く、新米おにぎりは、やはり格別の美味しさでした。地元の皆さんと、稲刈りを通してふれあい、自然を満喫できた一日でした。

記事　まちづくり新事業策定委員長　沖田 龍一